



栗田工業株式会社

2025年3月期 第3四半期  
**決算説明会**

---

(証券コード：6370)

2025年 2月 7日

# 業績概況



- 前年同期比では、主に半導体市況や為替変動を背景に、受注高、売上高、事業利益ともに増加。
- 通期予想に対して、受注高、売上高、事業利益ともに着実に進捗しており、業績予想は前回発表のとおり据え置く。

(単位：億円)		2024/3期 3Q累計実績	2025/3期 3Q累計実績	前年同期比	2025/3期 通期予想 (11/7発表)	前期比
受	注 高	2,816	3,125	+ 11.0%	4,250	+ 8.9%
売	上 高	2,867	3,008	+ 4.9%	4,100	+ 6.5%
事	業 利 益	305	353	+ 15.9%	500	+ 18.9%
そ	の 他 の 収 支	+ 1	△ 6	-	△ 3	-
営	業 利 益	305	347	+ 13.7%	497	+ 20.5%
税	引 前 四 半 期 利 益	305	347	+ 13.9%	490	+ 17.5%
親会社の所有者に帰属する四半期利益		219	242	+ 10.6%	345	+ 18.2%
基本的1株当たり四半期利益（円）		194.89	215.55	+ 10.6%	306.81	+ 18.2%
為 替 レ ー ト	USD（円）	143.3	152.6		152.6	
	EUR（円）	155.3	164.8		166.0	
	CNY（円）	20.0	21.2		21.2	

- 前期の第2四半期からアルカデ・エンジニアリング社を新規連結（一般水処理セグメントで計上）。

# セグメント別業績

(単位：億円)		2024/3期 3Q累計実績	2025/3期 3Q累計実績	前年同期比	2025/3期 通期予想 (11/7発表)
全社	受注高	2,816	3,125	+ 309	4,250
	売上高	2,867	3,008	+ 142	4,100
	事業利益	305	353	+ 48	500
	事業利益率	10.6%	11.7%	+ 1.1pp	12.2%
	営業利益	305	347	+ 42	497
電子	受注高	1,254	1,456	+ 202	1,950
	売上高	1,314	1,358	+ 44	1,790
	事業利益	149	193	+ 44	240
	事業利益率	11.3%	14.2%	+ 2.9pp	13.4%
	営業利益	151	195	+ 44	233
一般水処理	受注高	1,562	1,670	+ 108	2,300
	売上高	1,553	1,650	+ 98	2,310
	事業利益	155	159	+ 4	260
	事業利益率	10.0%	9.7%	△ 0.3pp	11.3%
	営業利益	155	152	△ 2	264

## 電子

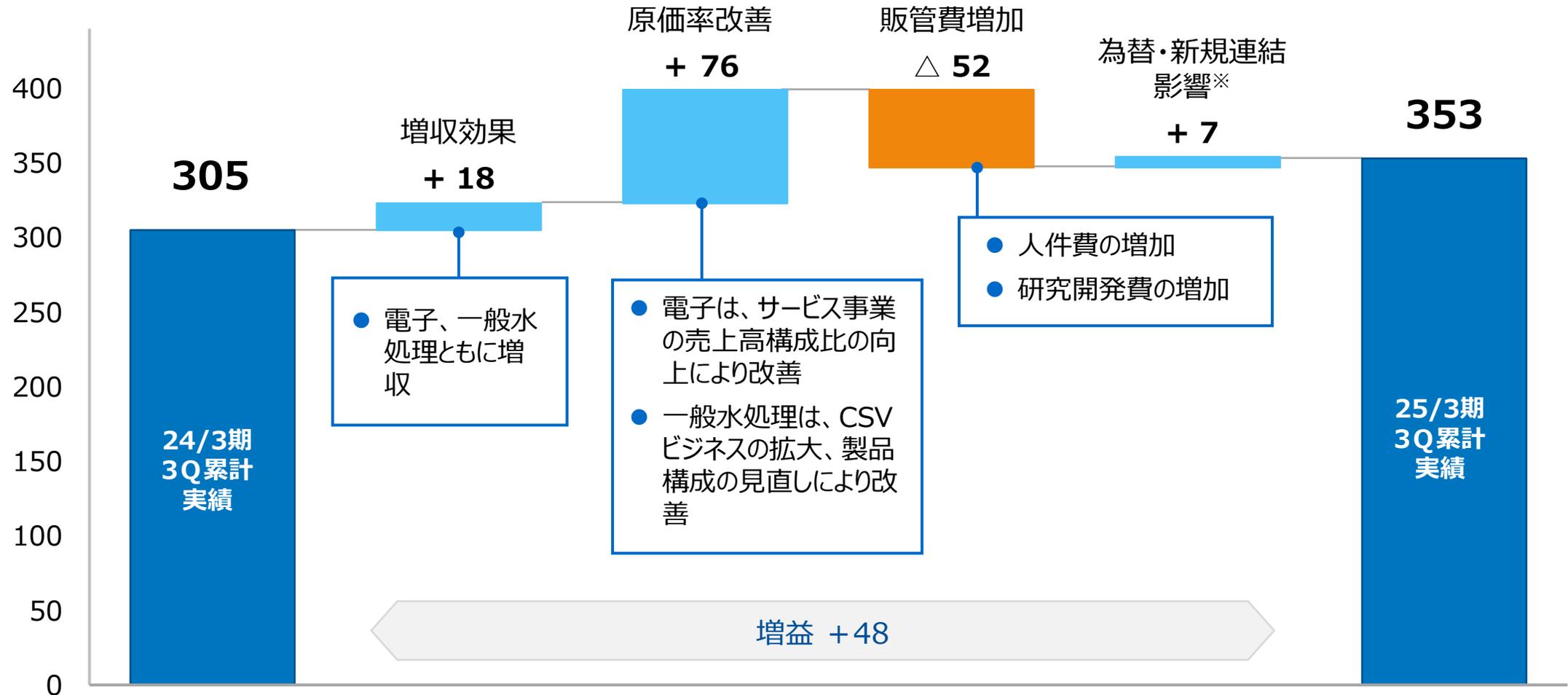
- 受注高は、主に装置や継続契約型サービスで増加。
- 売上高は、装置は減収も、継続契約型サービス、精密洗浄が増加し増収。
- 事業利益は、増収効果とサービス事業の売上高構成比の向上による原価率改善が、販管費増の影響を上回り増益。

## 一般水処理

- 受注高、売上高は、新規連結影響、為替影響に加え、装置の伸長により増加。
- 事業利益は、増収効果に加え、CSVビジネスの拡大や製品構成の見直し等による原価率改善の効果が、販管費増の影響を上回り増益。

# 事業利益の増減要因（前年同期比）

（単位：億円）



※ 新規連結影響は、前期の第2四半期からアルカデ・エンジニアリング社を新規連結したことによるもの。

(単位：億円)	2024/3期 3Q累計実績	2025/3期 3Q累計実績	前年同期比	2025/3期 通期予想 (11/7発表)
<b>受注高</b>	<b>1,254</b>	<b>1,456</b>	<b>+ 202</b>	<b>1,950</b>
装置	491	588	+ 97	788
継続契約型サービス	346	402	+ 56	541
サービス	417	466	+ 48	621
薬品	78	91	+ 13	118
精密洗浄	184	218	+ 34	287
メンテナンス	155	157	+ 2	216
<b>売上高</b>	<b>1,314</b>	<b>1,358</b>	<b>+ 44</b>	<b>1,790</b>
装置	548	495	△ 53	647
継続契約型サービス	346	403	+ 57	538
サービス	420	460	+ 40	605
薬品	78	90	+ 12	118
精密洗浄	184	217	+ 33	281
メンテナンス	158	152	△ 6	206

- 装置の受注高は、中国および韓国で増加。売上高は、中国で増加も、前年同期の国内大型案件の売上計上の反動で減収。
- 継続契約型サービスは、今期からサービスを開始した案件寄与に加え、一過性の収益計上もあり、受注高、売上高ともに増加。
- 精密洗浄事業は、為替影響を除いても受注高、売上高ともに増加。
- メンテナンスの受注高・売上高は、案件のタイミングによる増減はあるものの概ね想定線で推移。

### 売上高増減要因

(億円)

オーガニック増減	+ 11
為替影響	+ 33

# 一般水処理セグメント

(単位：億円)	2024/3期 3Q累計実績	2025/3期 3Q累計実績	前年同期比	2025/3期 通期予想 (11/7発表)
<b>受注高</b>	<b>1,562</b>	<b>1,670</b>	<b>+ 108</b>	<b>2,300</b>
装置	207	257	+ 50	427
継続契約型サービス	66	73	+ 8	121
サービス	1,289	1,339	+ 50	1,751
薬品	872	894	+ 22	1,190
メンテナンス	348	373	+ 25	473
その他	69	72	+ 3	88
<b>売上高</b>	<b>1,553</b>	<b>1,650</b>	<b>+ 98</b>	<b>2,310</b>
装置	199	248	+ 48	419
継続契約型サービス	76	83	+ 6	121
サービス	1,277	1,320	+ 43	1,769
薬品	873	892	+ 20	1,207
メンテナンス	335	360	+ 25	480
その他	70	68	△ 2	83

- 装置は、受注高が新規連結影響に加え、主に日本における案件獲得により増加。売上高は、北米における官需向け装置案件の工事進捗により主に海外で増加。
- 継続契約型サービスは、CSVビジネスの拡大により増収。
- 薬品は、為替影響を除くと、受注高、売上高ともに海外で減少も、CSVビジネスは増加。
- メンテナンスの受注高、売上高は、主に日本で増加。

## 売上高増減要因

(億円)

オーガニック増減	+ 42
為替影響	+ 43
新規連結影響	+ 13

# 地域別売上高・CSVビジネス売上高



## 地域別売上高（全社連結）

（単位：億円）	2024/3期 3Q累計実績	2025/3期 3Q累計実績	前年同期比	2025/3期 通期予想 (11/7発表)
日本	1,474	1,436	△ 38	1,905
アジア	650	755	+ 105	1,005
北南米	464	526	+ 62	780
EMEA*	278	291	+ 13	409
<b>合計</b>	<b>2,867</b>	<b>3,008</b>	<b>+ 142</b>	<b>4,100</b>

## 地域別売上高（一般水処理セグメント）

（単位：億円）	2024/3期 3Q累計実績	2025/3期 3Q累計実績	前年同期比	2025/3期 通期予想 (11/7発表)
日本	773	815	+ 42	1,092
アジア	167	170	+ 3	234
北南米	342	381	+ 39	584
EMEA	271	284	+ 14	400
<b>合計</b>	<b>1,553</b>	<b>1,650</b>	<b>+ 98</b>	<b>2,310</b>

## 地域別売上高（電子セグメント）

（単位：億円）	2024/3期 3Q累計実績	2025/3期 3Q累計実績	前年同期比	2025/3期 通期予想 (11/7発表)
日本	701	621	△ 81	813
アジア	483	585	+ 102	772
北南米	122	145	+ 23	196
EMEA*	8	7	△ 1	9
<b>合計</b>	<b>1,314</b>	<b>1,358</b>	<b>+ 44</b>	<b>1,790</b>

## CSVビジネス売上高

（単位：億円）	2024/3期 3Q累計実績	2025/3期 3Q累計実績	前年同期比	2025/3期 通期予想 (11/7発表)
全社連結	298	367	+ 69	480
電子	92	110	+ 18	135
一般水処理	205	256	+ 51	345

\* 2025年3月期から、従来北南米に含まれていた精密洗浄事業のEMEA拠点での売上高実績を、EMEAの売上高として計上

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2024/3期 3Q累計実績	2025/3期 3Q累計実績	前年同期比	2025/3期 通期予想 (11/7発表)
設備投資額（有形*）	248	378	+ 130	464
減価償却費（有形*）	210	227	+ 17	315
研究開発費	54	61	+ 7	75

\* 使用権資産含む。

- 設備投資額は、水供給事業、精密洗浄事業における設備投資の増加により、前年同期比で増加。
- 減価償却費は、新しい水供給案件の開始等に伴い前年同期比で増加。
- 研究開発費は、イノベーション創出に向けた取り組み強化により増加。

# 財政状態

(単位：億円)	2024年3月末	2024年12月末	増減
現金及び現金同等物	540	612	+ 72
営業債権及びその他債権	1,395	1,273	△ 122
棚卸資産	211	229	+ 18
その他流動資産	135	113	△ 22
<b>流動資産合計</b>	<b>2,280</b>	<b>2,226</b>	<b>△ 54</b>
有形固定資産	1,910	2,058	+ 149
のれん	710	730	+ 20
その他非流動資産	674	667	△ 7
<b>非流動資産合計</b>	<b>3,294</b>	<b>3,456</b>	<b>+ 162</b>
<b>資産合計</b>	<b>5,574</b>	<b>5,682</b>	<b>+ 108</b>
流動負債	1,186	1,353	+ 167
非流動負債	1,054	809	△ 245
<b>負債合計</b>	<b>2,240</b>	<b>2,162</b>	<b>△ 78</b>
親会社の所有者に帰属する持分	3,313	3,495	+ 182
非支配持分	22	25	+ 4
<b>資本合計</b>	<b>3,334</b>	<b>3,520</b>	<b>+ 186</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>5,574</b>	<b>5,682</b>	<b>+ 108</b>

- 流動資産合計の減少は、主に契約資産の減少。
- 有形固定資産は主に水供給サービス用設備の取得、精密洗浄用工場建設により増加。
- のれんの増加は、為替影響。
- 負債合計は、CP償還により減少。なお、償還期限が近づいた社債を、非流動負債から流動負債へ振り替え。
- 資本合計の増加は、利益剰余金の増加。



#### 将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている見通し数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

本資料内で使用している製品・サービス名およびロゴは、当社または他社の商標または登録商標です。